

22 関東地方



首都と4000万人以上の人口をかかえる関東地方は、日本の中心ともいえる地域です。平野が広がり、各種産業がさかんな関東地方を見ていきましょう。



関東地方の自然と農業・漁業

ここに注目!
 関東平野には水はけのよい関東ロームが分布し、畑作に向く。茨城県・栃木県・千葉県は米の生産量も多い。

関東地方には日本最大の流域面積をもつ【4】川が流れ、荒川などとともに広大な【3】平野を形成しています。

大都市の近くにある茨城県や千葉県、埼玉県などでは、野菜を中心とした畑作がさかんです(近郊農業)。いたみやすい葉物野菜(ほうれんそうなど)を中心に、都道府県別生産量で上位に入っています。また、群馬県の【2】山周辺の高原では、すずしい気候を生かした【10】により、キャベツやレタスが生産されています。



関東地方の工業など

【17】工業地帯では、機械工業のほか印刷業がさかんです。【16】工業地域・【13】工業地域では化学工業・金属工業が、【12】工業地域では機械工業が中心です。【14】国際空港・東京港は日本を代表する貿易港であり、大都市と工業地域に近いため、食料品・日用品の輸入と工業製品の輸出が特徴です。

ポイント 地域ごとの特徴を覚えよう!

- ・農業…茨城県・千葉県などの近郊農業、群馬県の高原の抑制栽培
- ・工業…京浜工業地帯の印刷、臨海部の化学・金属、内陸部の機械

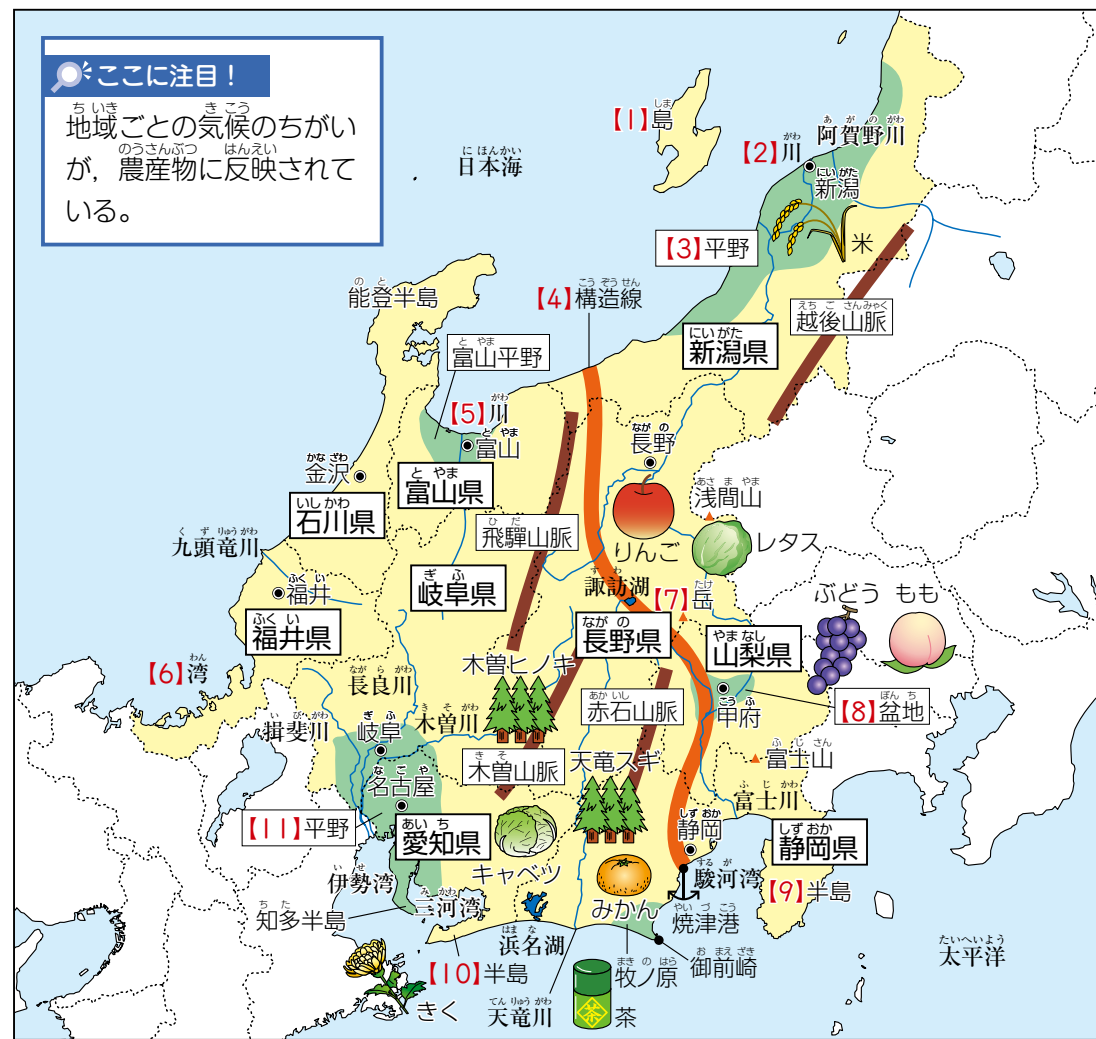
入試ではここが問われる!

- ・山地や川などの地名を問う問題が多く出されます。
- ・農業や工業に関する統計と、地図を組み合わせた問題が出されます。

23 中部地方

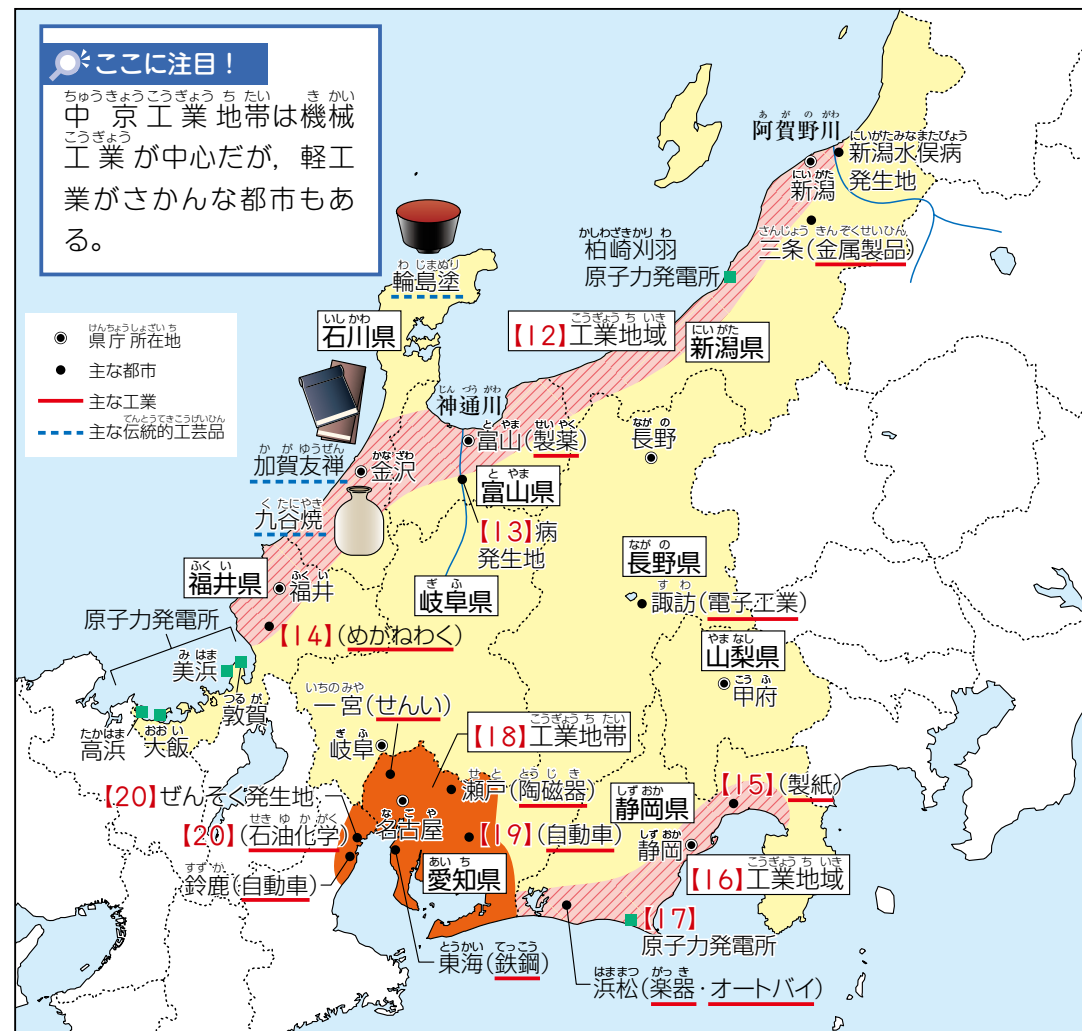


中部地方は大きく3つに分けることができ、新潟県・富山県・石川県・福井県を北陸地方、山梨県・長野県・岐阜県北部を中央高地、静岡県・愛知県・岐阜県南部を東海地方といいます。それぞれの特徴をおさえていきましょう。



中部地方の自然と農業・漁業

北陸地方の【3】平野・富山平野などは、雪が多い冬に農作業ができず、春～秋に雪解け水を生かした稲作を行う水田単作地帯となっています。中央高地では、すずしい気候を生かした高原野菜の抑制栽培や、ぶどう・もも・りんごなどの果物の栽培がさかんです。東海地方の静岡県では温暖な気候を生かしたみかんや茶の栽培が、愛知県では都市向けのキャベツなどの畑作がさかんです。また、木曾三川下流の【11】平野には低地が広がり、輪中が発達しています。



中部地方の工業

【18】工業地帯は、【19】市の自動車工業など、機械工業が中心です。【12】工業地域・【16】工業地域には、【14】市のめがねわく、【15】市の製紙など、特徴的な工業があります。中央高地では、長野県に電子工業などが進出しています。

ポイント 3つの地域ごとに覚えよう！

- 北陸地方…水田単作地帯、北陸工業地域
- 中央高地…高原野菜の抑制栽培、ぶどう、もも
- 東海地方…静岡県の茶、愛知県のキャベツ、中京工業地帯、東海工業地域

入試ではここが問われる！

- 農業や工業の特産品をもとに県名や地名が問われるほか、産業に関係の深い山や川の名前も問われます。